

# IIXIL 網戸付勝手口引戸ロックセット 交換手順書

必要な工具	プラスドライバー
-------	----------

## ■交換手順

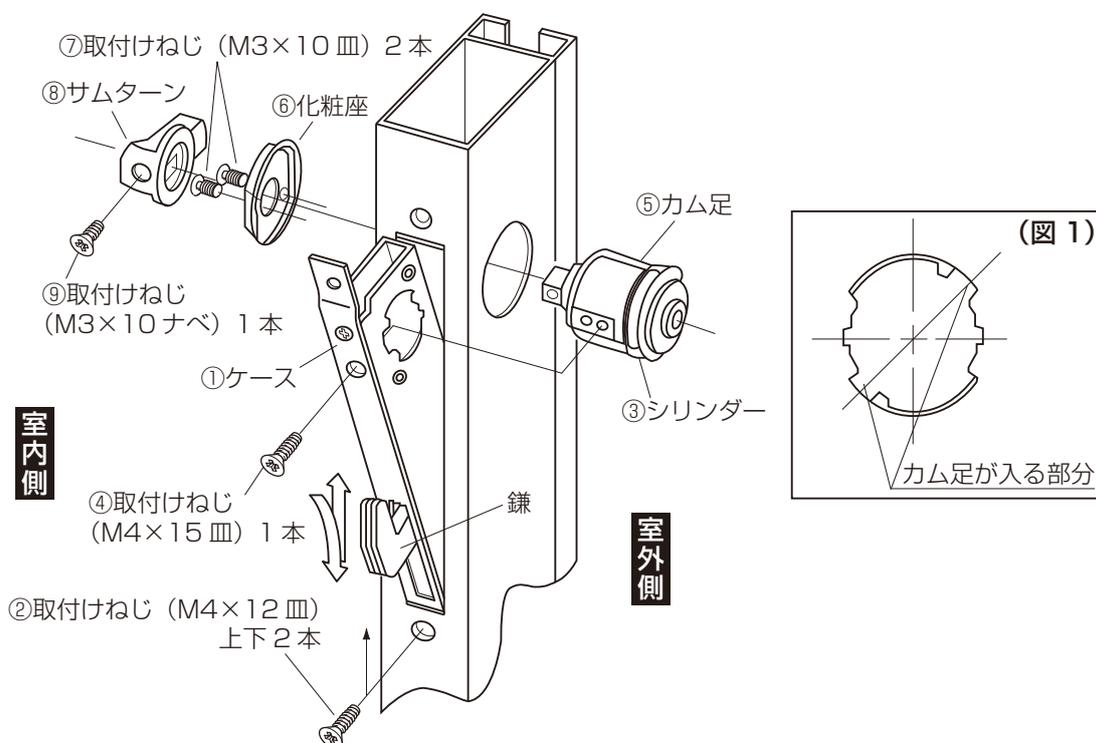
※下図は現物と若干異なる場合があります。

### 1. 戸先錠取外し

※サムターンを回して鎌を出した状態で作業を開始してください。

- ①室内側の⑧サムターンの⑨取り付けねじをプラスドライバーでゆるめて取外します。
- ②室内側に⑧サムターンを抜き、⑥化粧座の⑦取り付けねじ2本をプラスドライバーでゆるめ取外します。
- ③シリンダーを固定している④取り付けねじをプラスドライバーでゆるめ取外し、室外側から③シリンダーを抜き取ります。
- ④①ケースを固定している②取り付けねじを2本プラスドライバーでゆるめ取外し、①ケースを取外し完了です。

※ケースを型材の中に落とさないよう、鎌を指でつまみながら取り付けねじを取外してください。



### 2. 戸先錠取付け

- ①障子の戸先側縦枠切欠き穴に①ケースを差込み、②取り付けねじ(M4×12皿)をプラスドライバーで締め取付けます。

※ケースを切欠き穴から型材の中へ落とさないように、あらかじめシリンダーとサムターンをケースに仮組みし、サムターンを回して鎌を出しておいてから取付けてください。

※ケースは切欠き穴の内側に取付けるため、指で鎌を持ち、落とさないようにケースの下端を切り欠き穴に差込み、ケース上端が切欠き穴を潜り抜けるように入れてねじで固定してください。

- ②室外側から③シリンダーを差込み、④取り付けねじ(M4×15皿)をプラスドライバーで締めケースのフロント部から固定します。

※シリンダー取り付けねじ穴をケースフロント側に向けてください。

※⑤カム足をケースの切欠き部(図1)にあわせて差込んでください。

- ③室内側から⑥化粧座を⑦取り付けねじ(M3×10皿)2本でシリンダー底部のねじ穴に固定します。

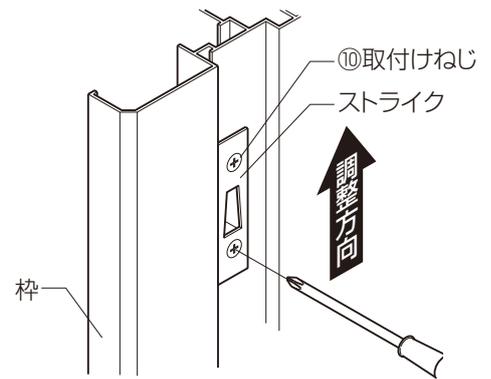
- ④室内側から⑧サムターンのねじ穴がケースフロント側に向くよう、シリンダー軸に差込み、⑨取り付けねじ(M3×10ナベ)で固定します。

### 3.ストライクの交換方法

- ⑩取付けねじをプラスドライバーでゆるめて取り外し、交換してください。

### 4.錠の調整方法

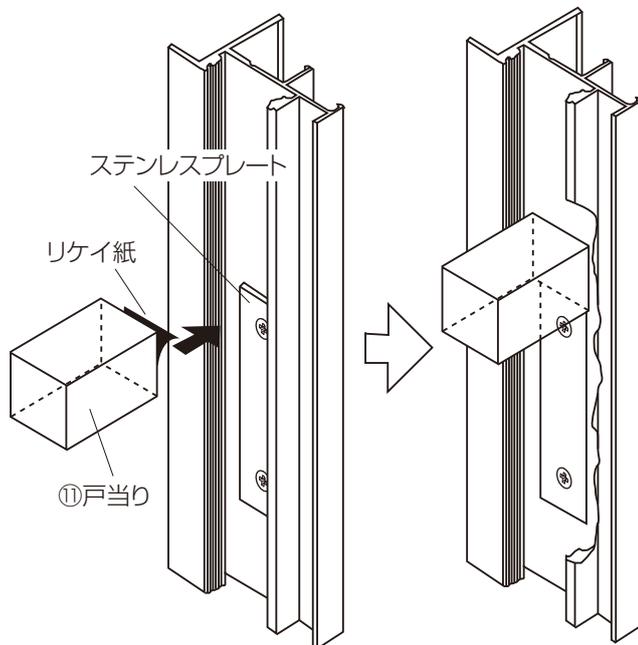
- 引手錠は固定になりますので、調整はできません。調整する場合は、縦枠側のストライク取付けねじを軽くゆるめて行ってください。



戸先内外錠を交換の際には、引込み側縦枠に戸当りを取付けてください。  
戸当りを取付けないと、障子を開けたときにサムターンが室内側方立に当たります。  
※有効開口が交換前に比べて小さくなります。

### 5.戸当り取付け(引込み側縦枠に取付け)

#### 取付け順序



※戸当りを取付ける表面が汚れていると十分な粘着力が得られませんので、表面の汚れ、ホコリ、水分、油などは除去してから取付けてください。  
汚れを除去しないで取付けると、使用中に戸当りが脱落し、障子を開けたときにサムターンが室内側方立に当たります。

※テープの粘着面に直接手を触れないでください。

1. ⑪戸当りの両面テープのリケイ紙をはがします。
2. 引込み側縦枠に⑪戸当りを張付けます。  
・このとき、ステンレスプレート上端に合わせて⑪戸当りを張付けてください。

#### ■交換後のチェック

- 錠に鍵を差し込み、施錠・解錠ができることを確認してください。
- サムターンを動かし、施錠・解錠ができることを確認してください。
- ※取付けねじを強く締過ぎると、施錠・解錠が固くなる場合があります。その場合は、ねじの締め付けを調整しながら確認してください。